

2014年8月29日
JGP準備会合
資料2

RootLGRについて

2014年8月29日
JPRS

背景

- ICANNの新gTLDプログラムにより、IDN TLDの申請が増加している
- IDN TLDはさまざまな言語・Script(用字)で申請されるため、Rootゾーンにはさまざまな言語・Scriptが混在することになる
- いくつかの言語・Scriptは異体字(字形・コードポイントは異なるが同じ意味の文字)を持ち、異体字同士は不可分と考えられている
- Rootゾーンでは、さまざまな言語・Scriptおよびそれらの異体字を統一的に取り扱うルール(Root Label Generation Rules; RootLGR)が必要である

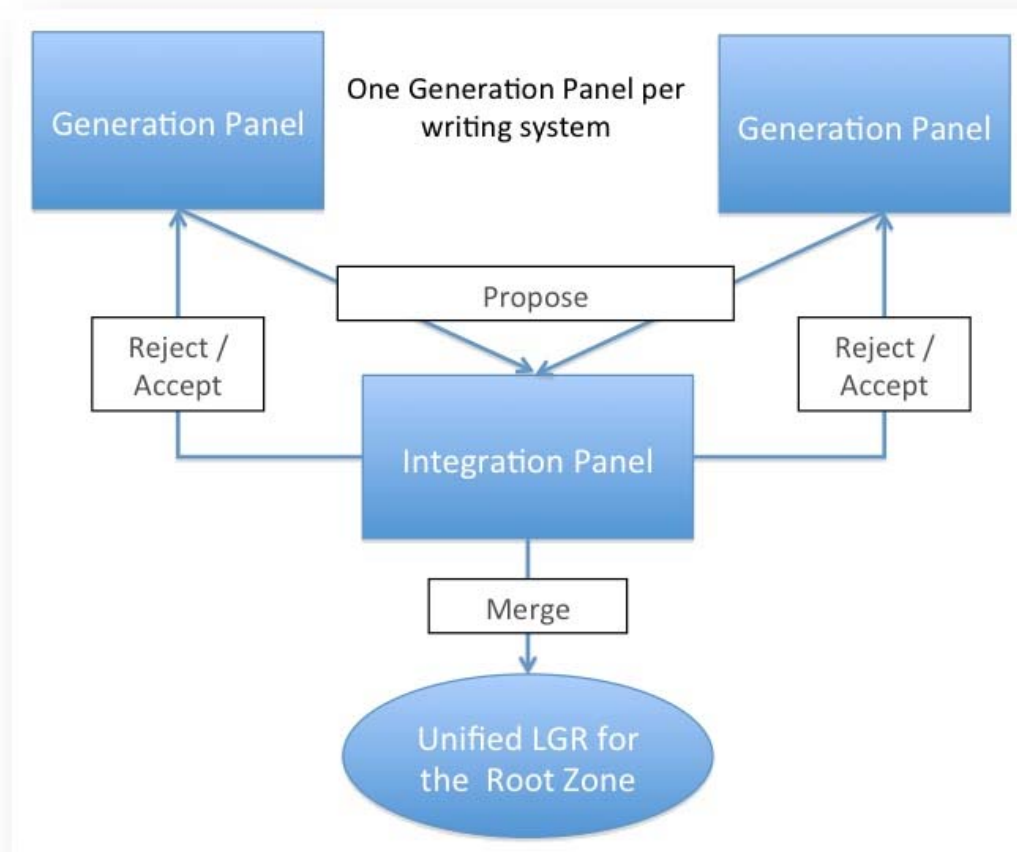
RootLGRとは(概要)(1/3)

- 新gTLDとして申請されたIDN TLD(IDNラベル)をRootゾーンの中でどのように取り扱うかを規定するルールのこと
- 各言語・Scriptに対する使用可能な文字の選択、使用可能文字に対する異体字の定義、どの異体字を有効にするかの定義等を、Rootゾーンで使用可能な全言語・Scriptを対象として統合したもの

RootLGRとは(概要)(2/3)

- 2種類のパネルが協調してRootLGRを作成
 - 生成パネル(Generation Panel; GP)
 - 言語・Script毎に設立され、当該言語・Scriptにおいて使用可能な文字の選択、使用可能文字に対する異体字の定義、どの異体字を有効にするかの定義、ラベル全体評価(Whole Label Evaluation; WLE)ルールの定義を行う
 - 統合パネル(Integration Panel; IP)
 - 各GPが作成した定義を基に、Rootゾーン用の全言語・Scriptを対象とする単一の統合されたラベル生成ルールを作成する

RootLGRとは(概要)(3/3)



出典

<<https://community.icann.org/display/croscomlgrprocedure/Root+Zone+LGR+Project>>

RootLGRを取り巻く状況

- ICANN
 - 2013年10月に統合パネルを設立
 - ICANN会合でRootLGRの解説を実施
 - 2013年11月のICANN48以降、各ICANN会合でセッションを設けて解説を実施している
 - IDNを使用する主要な国(地域)でアウトリーチ活動を実施
 - 日本語に関しては、2014年5月8日にJPNICオフィスでWorkshopを開催した
 - CJK(中国語、日本語、韓国語)での事前調整を要望
 - 漢字(の異体字)の取り扱いをCJKで合意した上で各GPからIPに提案することをCJKに要望している
- CJK GP
 - TWのKenny Huang氏が中心となってCJKのccTLDメンバにCJKでの共同作業(CJK調整委員会; CJK Coordination Committee)を呼びかけ
 - 中国語GPはCDNC(Chinese Domain Name Consortium)メンバを中心に構成、ルール案を作成中
 - 韓国語GPはハングルドメイン名を検討したメンバを中心に構成、立ち上げ中

RootLGRに関わる各組織の関係

